

堺市の生物多様性にふれる冊子

堺いさものの通信



コツボゴケ

2023 冬 号



カワラヒワ



クチナシ



メジロ



ホシホウジャク



マガモ



オオミノガ



ヒラタケ



ヒドリガモ



ミズアザミ

堺にすむ いきもの たち

生物多様性とは、単に動物や植物の種類が多いということだけを意味するものではありません。地球上では、様々な環境の中で多様な生き物が食べる・食べられる・共生するなど、お互いにつながりをもって生きています。このように、多様な生き物がお互いにつながりをもって生きていることを生物多様性といいます。ここでご紹介する写真は、すべて堺市内で撮影された写真です。WEBサイト「堺いきもの情報館」に市民の方などからご投稿いただきました。個性豊かな生き物たちや彼らのすみかを見て・知って、生物多様性を感じてみてください。生物多様性とは身近なものなんですよ！



オオゴキブリ



ムラサキシジミ

いき
もっと もの知りになれる！
生物多様性のおはなし

- 食物連鎖のはなし -

食物連鎖という言葉を知っていますか？これは簡単に言うと、「食う・食われる」関係を示すものです。食物連鎖は生物多様性と密接に関係しており、生物多様性の保全について考える上で欠かせません。

食う・食われる関係とは、植物が草食動物に食べられ、その草食動物が肉食動物に食べられるといった関係のことです。食物連鎖は特定の生き物の間でのみ成り立つのではなく、様々な生き物が複雑に関係しています。そうして多くの異なる生き物が互いに依存しながら調和を保っているのです。自然界には生きるために必要なエネルギーや栄養を自身で作ることができる生き物もいれば、作りだせない生き物もあります。食物連鎖によって、エネルギー等を作り出せる生き物を作りだせない生き物が食べることで、エネルギー等が循環していくのです。

では、食物連鎖がどのようになると生物多様性に影響があるのでしょうか。一番わかりやすいものでは、特定の生き物が減ることにより、食物連鎖のバランスが大きく崩れ、生物多様性が低下することです。例えば、植物が刈り取られると、その植物を食べる草食動物が食べるものを失い、絶滅する危険性が生じます。それだけでなく、その草食動物を食べる肉食動物までもが絶滅の危機に陥るのです。このように、食物連鎖は生物多様性と密接に関係しているのです。生物多様性の保全を考える際は生態系内の食物連鎖などの相互作用を理解し、働きかけることが重要です。



堺市の生物多様性を考えるWEBサイト

〈編集・発行〉

堺市環境局 環境保全部 環境共生課

TEL : 072-228-7440 / FAX : 072-228-7317

E-mail : kankyo@city.sakai.lg.jp



WEBサイト
トップページ

ユーザーネーム
sakai_ikimono /



Instagram
アカウント